

# 臼杵市都松地区

## 特産品開発を通じた持続可能な活力ある地域づくり

### 地区の概要

所在地：臼杵市野津町 構成集落数：12集落  
 世帯数：193世帯 人 □ □：470人  
 高齢化率：48%

平成29年4月時点

### 取組のきっかけ

臼杵市では、少子高齢化・人口減少を見据えた対策のひとつとして、将来的に地域活動の中心を担っていく組織「地域振興協議会」を旧小学校区ごとに設置しよう推進している。都松地区においても、平成27年3月に「都松地区振興協議会」を設立した。

地域の一体感を醸成するための健康づくりサロンや世代間交流イベント等の取組に加えて、住民の生きがいづくりや健康増進、地域活動に必要な財源の確保などを目的に、健康に良いとされる黒ニンニク、エゴマ油、甘茶の特産品化に取り組むこととした。

### 地域課題解決の取組イメージ



#### 【都松地区振興協議会】

- ①高齢者ふれあいサロン
- ②子ども向け体験教室
- ③ふるさと祭りなど地域内交流イベント
- ④特産品開発を通じた生きがいづくり



## 都松地区振興協議会

活動拠点 臼杵市野津町大字都原1014番地  
 施設概要 事務所、加工施設（旧都松小学校）

主な取組

- ①高齢者ふれあいサロン
- ②子ども向け体験教室
- ③ふるさと祭りなど地域内交流イベント
- ④新たな特産品づくり など



活動拠点は廃校を活用

### 取組の検討・実施

#### 【安心して暮らせる地域づくり】

地区内全戸を対象としたアンケート調査を実施。高齢者の見守り、交通手段の確保等のニーズに対応するため、地区内の相互扶助の体制を整えた。

#### 【地域住民の生きがいづくり・健康づくり】

- ・試験栽培や試作を経て、エゴマ、甘茶の栽培方法、エゴマ油、黒ニンニクの加工方法を確立した。
- ・加工施設を整備し、栽培から加工まで全ての製造工程を地域内で行うことができるようになった。



#### 【持続可能な地域づくり】

- ・加工販売を行うため、大分県中小企業団体中央会の支援により、平成29年12月に企業組合を設立した。
- ・特産品販売による収入を地域活動の充実のために活用できるよう体制を整えた。

### 地域の声

・地域の人たちと農作業を楽しんでいる。過疎が進む中、働くことが生きがいとなり、地区内外での交流が進んでいる。

### 今後の方針

- ・「特産品を食べて健康になろう」をスローガンとして、地域住民がいいきと健康に暮らせる地域をめざす。
- ・地域活動に必要な自主財源の確保と、後継者の育成を図り、持続可能な地域づくりをめざす。